



# GREEN LETTER

## グリーンレター

**Vol.302**

2022/6/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

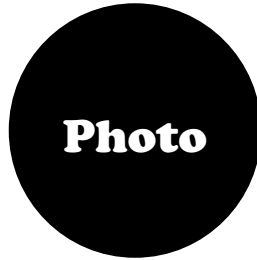
GREEN COLUMN

01. ムカシトンボ

02. 野外調査の裏側



今月の一枚



## 「静かな網走湖畔」

表紙写真・文／鬼丸和幸

網走川が流入する網走湖。特に湖畔東側沿いは、見事な湿地林帯が広がりますが、訪れる人はまばらで、静かな自然散策が楽しめます。広大なヨシ原の中には、ハンノキやヤチダモなどの巨木に混じり、春先はミズバショウが美しく咲き誇ります。

天気の良い日の網走湖の朝焼け・夕焼けは美しく、湖面にオレンジからブルーのグラデーションが現れ、しばし見とれてしまいます。地元の方の話だと、たまにヒグマが湖を泳いでいる姿が見られるとのことでした。

# Event. 今月のイベント

特別展「びほろ町4公園の草花図鑑」～10月23日(日)

プチ工房「キャンドルホルダー」6月3日(金),4日(土)

博物館講座(自然編)「植物標本を作ってみよう」6月25日(土)

# Information. 参加者募集

プチ工房「キャンドルホルダー」

●6/3(金),4(土)①10:00開始,②13:00開始,③14:30開始,所要時間45分~,作品ができ次第終了●美幌博物館1階講座室●参加費500円,マスク●町田善康(美幌博物館)●美幌博物館へ電話申込み(-6/2)。各回定員12名で締切。小学3年生以下は保護者の同伴が必要。定員に達しない場合は当日参加も可能です。

博物館講座(自然編)「植物標本を作ってみよう」

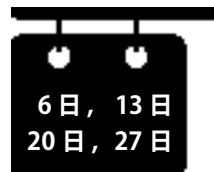
●6/25(土)9:30-15:00●美幌町古梅地区(集合解散はマナビティーセンター)●100円,野外で活動できる服装,長靴,昼食,飲み物,虫よけ,雨具,マスク●城坂結実(美幌博物館)●美幌博物館へ電話申込み(-6/22)。キャンセルは6/22まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学3年生以下は保護者の同伴が必要,定員8名で締切。

博物館講座(自然編)「植物画に挑戦!」

●7/2(土)9:30-12:00●美幌博物館1F講座室●100円,汚れてもよい服装,お手元が見えにくい方は眼鏡,マスク●びほろ植物画同好会●美幌博物館へ電話申込み(-7/1)。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学3年生以下は保護者の同伴が必要,定員12名で締切。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため,発熱がある,あるいは体調が優れない方のご参加はお控えください。各イベントは,内容の変更や中止となる場合がございます。また状況により,一時休館となることもございます。事前にお電話でお問い合わせの上,ご参加ください。

今月の休館日



〈凡例〉●日時●場所●費用,持ち物●講師●申込み方法

## 01 GREEN COLUMN

グリーンコラム

# ムカシ トンボ

写真・文／鬼丸和幸



ようやく、初夏ともなり、木々の緑もだんだん濃くなってきました。美幌町内の溪流沿いを歩いてみると、昆虫たちも活動を始め、エゾシロチョウが飛んでいる姿も見かけるようになりました。

現在、美幌町内では、50 数種のトンボの仲間が暮らしています。こと山間部の溪流沿いでは、ムカシトンボ、ニホンカワトンボ、モイワサナエ、コサナエ、オニヤンマの5種類のトンボの姿を見ることができます。その中でも、最も早い時期からその姿が見られるのが、ムカシトンボです。ムカシトンボは、体長約5cmの日本固有種のトンボで、山地溪流に特徴的に現れます。美幌町内では、5月下旬～6月下旬頃にかけて、古梅地区や栄森地区などの山間部で見られます。

ムカシトンボは、①水環境が安定していないと生息できない（卵から成

虫になるまでに7～8年かかるため、その間に環境が変わると生きられない）、②太古のトンボの姿をとどめている（太古トンボ化石と同じ形態をしている）、③ムカシトンボの仲間（3種）は、世界中で3地域でしか見られない（日本、中国、ヒマラヤ山脈のみに生息）という特徴を持つ貴重なトンボです。

そのムカシトンボですが、このほど博物館第1展示室のジオラマの中で、そのレプリカ（複製品）を、10月中旬頃より展示することとしています。ジオラマの溪流沿いの岸辺に、ハネを畳んだ格好で植物にとまっていますので、来館される折は、ぜひご覧いただければと思います。

## 02 GREEN COLUMN グリーンコラム

# 野外調査の 裏側

写真・文／城坂結実



今年<sup>今</sup>年は、5年毎に開催される北海道フラワーソンの年です。フラワーソンは1997年の第1回から数えて、今年で第6回目。ひょっとしたら、新聞などでこの名前を耳にしたことがある方もいらっしゃるかもしれません。「フラワーソン」は「フラワー・ウォッチング・マラソン」の略語で、北海道全域で6月中旬に植物を調べるイベントを指します。今年は6月18日（土）、19日（日）の2日間。雨天決行とされていますが、雨の中で開花している植物の名前を記録したり、図鑑を開いたりするのはとても億劫<sup>おっくう</sup>なので、晴れてくれることを願っています。

と、ここまで書いて、学生時代に経験した樹木調査を思い出しました。樹木の調査では、毎年あるいは数年に一度、特定区域の全ての樹木を調べることがあります。その面積はかなり広大

な上、斜面や足元が悪い場所がほとんどで、調査にはとても時間がかかります。そのため、多人数で数日間かけて調査をするので、日程はあらかじめ決められています。

ある年の10月。北海道南部の山中で、樹木調査は行われました。寒さで手はかじかみ、記録用紙も濡れて書きづらく、とてもつらかったのを覚えています。翌日、雨は止んだものの、強風で寒かったので、休憩時に地面のわずかな凹みに寝そべて、寒さを凌いだことはいい思い出です。

野外調査には、つらいけれど面白い話がたくさんあります。身近に野外調査をされる方がいらっしゃれば、聞いてみるのも一興かもしれません。ちなみに写真は、知人の調査に同行し、片道10時間歩いて、ようやく調査地に到着した時のものです。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 ( 72 ) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / [museum@town.bihoro.hokkaido.jp](mailto:museum@town.bihoro.hokkaido.jp)

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

## 学芸員のつぶやき



昨年、自宅庭に数種類の花を植えました。気温が上がり、様々な新芽が土の中から顔を出し始めています。これは何の新芽かな？と、一人でクイズ大会を開催するのが休日の楽しみです。(城坂)